



三郷市立彦成小学校

令和6年度学力向上
グランドデザイン



数値目標

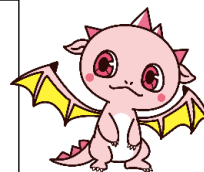
目標①：埼玉県学力・学習状況調査

R 6：全項目県以上の伸び R 7：県以上の伸び

丈夫でがんばる子・きまりを守り助け合う子・よく考え自分から進んでやる子

気力あふれる児童の育成

～家庭・地域共に、児童の非認知能力を育む学校～



気力の育成

「わかった!」「できた!」
基本的スキル・知識の習得、自己効力感の獲得

「もっと!」「やりたい!」
探求心・主体性の発生

授業改善! ～非認知能力の育成～

自分自身のより正しい把握(メタ認知)をし、考え(論理的思考)、決め(自己決定)、それに基づき行動する。
自分で決めたことだから前向き(ポジティブ思考)に向き合え、困難にも立ち向かえる

＜価値あるざっくばらんな関わり合い活動＞…協調性・合意形成能力

児童の姿

- ・課題解決に向けて、全員が思ったことを素直に話し合う。
- ・多様な他者と関わり、互いの思いや考えを比較、尊重する。
- ・目的をもったやり取りを通して、学びを深めていく。

教師の手立て

- ・学びの必要感や興味関心を持たせる導入や発問の工夫
- ・個の学びを充実させることで、他者に働きかける必要感を引き出す
- ・意図的な関わり合いの場の設定と目的の明確化
- ・月例授業の充実

関わり合いを通して、認知能力と非認知能力を相互に高める!

＜振り返りの充実＞…メタ認知力

振り返りの視点を与えたり、組み合わせたりすることで、学習の進み具合や児童の学習・能力に応じた振り返りができるようにする。

- ・自らの学びを調整→児童自ら問題解決のサイクルを回す主体的な学びへ

＜ICTの活用＞…思考の整理

- ・児童が考えを整理したり、伝え合ったりする際のツールとして活用する。
→【問題場面の把握】【課題解決の手段と表現方法】【自他の考えの共有】
- ・個に応じた習熟(ミライシード AI ドリルの活用)

＜外国語研修＞

授業

- ・Hikonari English Class 45 の作成…全職員共通の授業の流れを確立
- ・Hikonari English Original Learning List の作成…系統性を意識した指導
- ・単元のゴール及び本時の目標設定…外国語に親しみやすく(=魅力的)かつ必要感のある課題・場面設定

環境

- ・外国語に日常的に触れることのできる環境整備
→校内掲示の英語化、What's this?クイズ、英語クラブによるイベント企画
- ・国際理解教育の推進…ボーダーリンクによるオンラインサービスの利用

家庭との連携! ～非認知能力の育成～

＜家庭学習＞…思考力・自己決定

学習習慣の定着、課題解決する力や物事に継続して取り組む力を身に付けることを目的として、毎日取り組む。6年間のゴールの姿として「自分にとって必要な家庭学習の内容と時間配分の自己決定(内容と時間の管理)」ができるように各学年の目指す姿(目標)を設定する。

＜タブレットの活用＞

毎週末タブレットの持ち帰りを実施

- ・タイピングチャレンジ → 児童の ICT 活用能力を高める。
- ・ミライシード AI ドリルの活用 → 個に応じた習熟を図る。
- ・ICT を活用した NIE 教育 → 情報活用能力の育成を図る。



＜学力を支える学級経営＞～わからないことをわからないと言える学級～

- ・基本事項【授業の心得・彦成小よい子の約束・年間生活目標・毎月生活目標】を徹底する。
- ・学習規律【学習用具の正しい使い方、書き方(描き方)、話の聞き方、整理整頓の仕方など】を徹底する。
- ・教師と児童、児童同士の信頼関係の確立 → 「みんなが自分の話を聞いてくれる」「わたしの居場所はここだ」安心感のある学級
- ・「間違い」や「わからない」を学び合う好機とする雰囲気醸成する → わからないことをわからないと言える学級
- ・物事に対して、全力で取り組む経験や体験をさせる → 自分の強みや良さ見つけ、認め合うことができる学級

愛